

第3回 食品安全文化の可視化に関する研究会 【ブラッシュアップチーム】議事概要

日時：2025年10月1日

場所：三番町共用会議所／オンライン（Teams）ハイブリッド開催（会場＋オンライン）

次第

1. 開会
2. 情報共有
3. 意見交換
4. 閉会

意見交換（要点）

- **削除候補の再評価**
 - 経営層コミットメントに関する設問（番号「5」「6」）は**実務上の重要性が高い**として**復活**。暫定的にリーダーシップ関連因子へ配置。
 - 「7（ビジョン・ミッションへの共感）」「10（他チームとの協力）」「15（掲示物等の情報共有の理解度）」「17（研修の“自分の仕事改善”への有効性）」は、**重複・回答困難・ミスリード懸念等の理由で削除維持**。
 - **因子（大分類）構成と可視化**
 - 因子ごとの**設問数の偏り**がレーダーチャート表示に与える影響を認識。必要に応じて正規化（補正係数）等で見せ方を調整。
 - F5（自己評価系）は他因子と傾向が異なるが、**自己評価と他評価のギャップ把握**に有用との意見。現状は維持しつつ、GFSI 更新後に再検討。
 - **研修関連の捉え方**
 - 「頻度等の実施状況」と「有効性（行動変容）」は分けて捉える。
 - 有効性は他の**残存設問（停止権限の行使、改善提案等）**からも間接的に評価可能との整理。
 - **ガイダンスのトーン**
 - **数値のみで“文化”は測れない旨**を明記。アンケートは**複数手法の一つ**であり、**観察・インタビュー・文書確認**と併用することを強調。
 - 文量は過不足なく。現行版の**早期差し替え（第1弾）**と、**ブラッシュアップ後の充実版（第2弾）**の二段構えも選択肢。
-

決定事項・対応方針

1. 設問の扱い

- 「5」「6」を復活（暫定：リーダーシップ系因子へ）。
- 「7」「10」「15」「17」は削除維持。
- 現時点の総数は **27 項目**。以降も**削除候補の救済審議を継続**しつつ、25 前後に収束させる方針。

2. 因子・名称

- 現行五区分を当面維持。**GFSI アップデート公開後に差分照合し、名称・構成を必要最小限で整合。**

3. 可視化の見せ方

- レーダーチャート等は**設問数の偏りを補正**する表示ルール案を検討（正規化の方法をガイダンスに追記）。

4. ガイダンス作成

- 上記 4 点（実施前／結果の見方／アクションガイド／25 項目版 Q&A）を**並行作成**。
- **現行版の差し替え（早期版）も検討し、読み手の誤解を防ぐ注意書きを明記。**

5. ツール改善

- 集計 Excel に**簡易グラフ**を実装し、**結果の読み解き例**を提示。
- 設問文言の表記ゆれ（部門名等）に関しては、**テンプレート変更手順をガイダンスに明記**（VLOOKUP 等の参照語の同期）。

6. 普及・広報

- **12/3 展示会**での紹介を確定路線として準備。
- 業界団体・大手バイヤーの**取引先会議**、各社の**勉強会**等で紹介機会を探索。
- **多言語対応**は、確定設問後にツール側へ翻訳文の差し込みで対応可能。

7. 進め方

- 次回以降、一貫性（18 番以降）から順次、削除候補の救済可否を再審議。
- **GFSI の最新情報**は WG 参画メンバーから入手し、**差分の即時共有**を行う。

以上